

令和4年度  
一宮市医師会オンライン健康教育講座

# HPVワクチンについて ちゃんと知って考えよう

参加費  
無料

日時

令和5年 3月12日(日) 10:00~11:30

開催  
方法

Zoomウェビナー 定員 500名

申込  
方法

- ①オンラインフォームより開催前までにお申し込みください。
- ②ご登録メールアドレス宛に、開催当日に使用するZoomウェビナーURLをお送りします。
- ③開始時間になりましたら、お送りしたURLよりZoomウェビナーにご参加ください。

申し込み  
フォーム



QRコードからオンラインフォームにアクセスできます

講師

稲葉可奈子先生

- ・みんなパピ!みんなで知ろう HPVプロジェクト代表
- ・関東中央病院産婦人科



- ・稲葉可奈子先生が代表を務める「みんなパピ!」制作のHPVワクチン接種リーフレット(裏面)もぜひご覧ください。
- ・個人情報の取扱いについて：お申し込みの際にいただいた個人情報は責任をもって管理し、当講座運営のためだけに使用させていただきます。

主催：一般社団法人一宮市医師会 共催：公益社団法人愛知県医師会  
後援：一般社団法人一宮市歯科医師会 / 一般社団法人一宮市薬剤師会

お問い合わせ

一宮市医師会事務局 TEL:0586-71-7531

✓ 講師プロフィール



# 稲葉 可奈子先生

・みんなパピ!みんなで知ろうHPVプロジェクト代表 ・関東中央病院産婦人科

京都大学医学部卒業、東京大学大学院にて医学博士号を取得、現在は関東中央病院産婦人科医長、双子含む四児の母。産婦人科診療の傍ら、病気の予防や性教育、女性のヘルスケアなど生きていく上で必要な知識や正確な医療情報とリテラシー、育児情報などを、SNS、メディア、企業研修などを通して効果的に発信することに努めている。

## みんなパピ!みんなで知ろうHPVプロジェクトについて

ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症に関する正確な知識を伝え、科学的な根拠に基づきHPVワクチンの有効性と安全性についての啓発を行い、健康増進に寄与することを目的に設立された一般社団法人。詳しくはウェブサイトにて。

みんなパピ!みんなで知ろうHPVプロジェクト <https://minpapi.jp/>



厚生労働省は  
HPVワクチンの接種を  
おすすめしています

HPV ワクチンの安全性が確認されました

HPVワクチンはこれまでに世界で約5億回も接種されており、他のワクチンと比べて特別に重い副反応を起こしやすいわけではないことがわかっています。厚生労働省の副反応検討部会は安全性に特段の懸念はないと報告しています。WHO(世界保健機関)も「HPVワクチンは極めて安全性が高い」としています。ワクチン接種によるメリットと副反応のデメリットを比べた場合、メリットの方がはるかに大きいと考えられます。

HPVワクチンについて、わかりやすく詳しく解説しています→ [みんなパピ!](#) 検索

**ワクチン接種後に起こりうる症状**

はれ、痛み(局所反応)  
ワクチン接種に伴い、接種した場所に起こる炎症。多くは数日以内に改善します。

アナフィラキシー  
接種後にじんましんや咳等のアナフィラキシー症状が起こるのは約96万回に1回。接種後30分間は病院で安静に。

不安による心身の反応  
10歳以上の児童では、痛みや不安等で自律神経が刺激され、一時的に血圧が下がって失神・過呼吸や気分が悪くなることも。注射前に緊張したり、以前注射で気分が悪くなったことがある方は症状を起こしやすいので、ベッドに横になって接種などの対策があります。他のワクチンよりも神経系の病気が特に起こりやすいデータはありません。

他のワクチンより危険性が高いわけではないかもしれません

みんなパピ!

2020年10月作成

子宮頸がんって?

女性の子宮の入り口付近にできる「がん」で、日本では20~40代の女性を中心に毎年約1万人が新たに子宮頸がんと診断され、年間約3,000人が亡くなっています。また、子宮頸がん患者の9割近くで子宮摘出等の手術や抗がん剤治療が必要になり、子どもを産むことができなくなる方も少なくありません。子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によるもので、17歳未満でHPVワクチンを接種すると子宮頸がんの88%を防ぐことが報告されています\*。接種した人も20歳をすぎたら子宮頸がん検診を受けましょう。 \* N Engl J Med 2020; 383:1340-1348.

子宮頸部

卵管 子宮 卵巣

約8割の女性が一度はHPVに感染  
年間約1万人が新たに診断  
20~40代女性に多い  
検診では異常が出てからしか見つけられません

女性の8割は感染してはいるが、子宮で中絶してしまったり、働き盛り!

検査とワクチン 両方大事

ワクチンを接種するには?

HPVワクチンは定期接種として、小学6年生から高校1年生の女子は無料で接種できます。中1が標準的な接種年齢です。1997~2005年度生まれの女性は2022年4月から3年間は特例で無料接種可能です。

小6 から 高1 定期接種

接種の手順

- 1 予約接種 自治体ホームページ等でHPVワクチンの予約の受け取り方を確認。
- 2 予約 医療機関に電話をし、ワクチン接種の申し込み。
- 3 当日は医療機関から指示された書類(予約票、母子健康手帳、健康保険証等)を持参して受診。

接種後に体調を崩したら  
もし接種後に気になる症状がある場合は、接種した病院や周りの大人に遠慮せずに相談しましょう。

相談してね!

HPV感染症に関する正確な知識を伝え、皆様の健康増進に寄与することを目指しています。

みんなパピ! みんなで知ろう HPV

みんなパピ! 検索

2022年4月作成

子宮頸がんのこと、HPVワクチンや一宮市内での接種方法は、一宮市医師会ウェブサイトからもご覧いただけます。

